



2022. 2. 1 No.180号

社会福祉法人下松市社会福祉協議会
〒744-0078 下松市西市二丁目10番16号
下松福祉センター内

TEL 41-2242 FAX 41-2330
<https://www.kudamatsu-syakyo.or.jp>



もくじ (主な内容)

新年のあいさつ	2P
共同募金中間報告	3P
下松市社会福祉振興大会	4, 5P
善意の花束	6P
サロン活動紹介	7P
掲示板	8P

10月から1月の間、久保小学校と公集小学校で、障がいについての理解や、困っている人への声かけの大切さ、お手伝いの方法を学ぶ、福祉体験学習を行いました。児童からは、「困っている人がいたら自分から声をかけたい。」「みんなに優しいまちになってほしい。」といった感想が聞かれました。

社会福祉協議会では福祉教育を通して、地域の皆さんが安心して暮らせるまちづくりの推進に取り組んでいます。

紙面リニューアルについて

今号からより見やすい社協だよりを目指して横書きにしました。
また、こちらからもHPにアクセスできるようになりました。➡



ともに生きる豊かな地域社会

社会福祉法人 下松市社会福祉協議会 会長 白木正博



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

また、社会福祉協議会の諸事業につきましては、皆様から温かいご理解とご協力をいただき深く感謝を申し上げます。

一昨年来我が国は、新型コロナウイルスの感染拡大により、かつて経験したことの無い広範囲な社会・経済活動の停止が個人や事業者の収入の減少等を招き、経済・雇用状況が厳しさを増すとともに、暮らしの在り方も大きく変化しています。

一方、地域社会でも、少子高齢化や人口減少、単身世帯の増加や働き方の多様化等により取り巻く環境が大きく変化し、新型コロナウイルス対策と相まって、地域における人間関係の希薄化が進み、孤独死や自殺、ひきこもり、8050問題や生活困窮等、様々な生活課題が顕在化しています。

このような中、国においては、子ども、高齢者、障がい者などすべての人々が、地域での暮らしや生き甲斐を共に創り、高め合うことができる「地域共生社会」の実現を提唱し、「他人事」になりがちな地域づくりを、住民が「我が事」として主体的に取り組む施策が推進されているところであります。

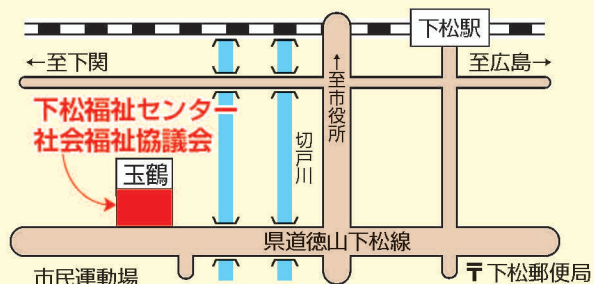
私たち社会福祉協議会は、「地域福祉の推進を図ることを目的とする団体」として、住民主体の理念に基づき、住民のつながりを再構築し、公的施策だけでは成し得ない、住民主体のきめ細やかな地域福祉活動を展開し、福祉のまちづくりを進めることが、本会の使命であると再認識しているところであります。

役職員一同「ともに生きる豊かな地域社会」への実現に向け、本年も公私協働で取り組んでいく所存でありますので、今後とも一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、皆様のご健勝と更なるご活躍を祈念いたしますとともに、新型コロナウイルスの一日も早い収束を願い、新年のご挨拶といたします。



社会福祉協議会案内図



〒744-0078 下松市西市二丁目10番16号



令和3年度

赤い羽根共同募金・歳末たすけあい募金運動へ
たくさんのご協力ありがとうございました！！



募金総額 9,652,984 円 (令和4年1月4日現在)

戸別募金	7,283,700 円
法人募金	1,503,864 円
職域募金	297,258 円
学校募金	183,321 円
街頭募金	41,810 円
その他の募金	343,031 円



街頭募金



下松高校

赤い羽根共同募金運動では、各自治会をはじめ、福祉関係団体、各事業所、学校、子ども会、その他多くの皆様のあたたかいご理解とご協力により、多額の募金が寄せられました。寄せられた募金は全額山口県共同募金会へ送金し、山口県内の各種福祉事業に役立てられるほか、「下松の福祉をよくするしくみ」づくりのため、地域福祉活動の推進や障がい者団体などの事業費に活用されます。

12月1日より実施された、歳末たすけあい募金は、新たな年を迎えるにあたり、ひとり親世帯への「地域歳末見舞金」や、地域に住む子どもからお年寄りといった様々な世代の交流事業を行うサロンや施設へ助成しました。



豊井小学校



下松市更生保護女性会



下松小学校



花岡小学校



華陵高校



東陽小学校



久保中学校



末武中学校

ガチャガチャ
募金
始めました!!

ガチャガチャは、下松福祉センターに設置しています。1回200円で、その全額が赤い羽根共同募金への寄付となります。

中身は、レノ丸(レノファ山口FCマスコットキャラクター)のイラストと県内の観光名所の写真がコラボした赤い羽根オリジナルデザイン缶バッジで、初年度のデザインは、19市町の観光名所+シークレットの20種類です。



令和3年度

下松市社会福祉振興大会

11月16日、スターピアくだまつ展示ホールで、「令和3年度 下松市社会福祉振興大会」を開催しました。

この大会は、「だれもが安心して暮らせる福祉のまちづくり」をめざして、福祉関係者が一堂に会し、地域福祉のより一層の推進と社会福祉の発展に資することを目的に毎年開催しており、式典と講演が行われます。

今年度も新型コロナウイルス感染症の影響で、開催が危ぶまれましたが、感染予防対策として、参加者を制限し、式典のみとすることで無事開催することが出来ました。

式典では、功労ごとに表彰が行われ、長年にわたり社会福祉の向上に尽力された功労者に國井市長から市長表彰（1名）が、白木社会福祉協議会長から社会福祉協議会会長表彰（43名・4団体）が贈られ、敬意と感謝の意を表しました。



御受賞おめでとうございます

(順不同敬称略)

◎下松市長表彰

社会福祉関係功労（個人1名）

☆市川 正紀（西豊井）

◎下松市社会福祉協議会会長表彰

市社協・地区社協関係功労（個人7名）

☆中村由佳里（美里町）

☆田村 泰彦（下谷）

☆田村 英司（南花岡）

☆末永 豊（藤光町）

☆庄田 幸子（河内）

☆浅田 伸子（潮音町）

☆白井 春好（河内）

民間施設、福祉関係団体功労（個人6名）

☆河村 雅子（美里町）

☆辻 真澄（周南市）

☆松村 恵子（末武上）

☆櫻井 直美（光市）

☆秋貞 守（生野屋）

☆矢野 文江（中市）





民生委員児童委員功労（個人7名）

☆三家本 勉（西 市）	☆藤井 順子（末武上）	☆藤井 茂久（末武上）
☆中原 里枝（桃山町）	☆松永 善男（旗 岡）	☆橋本美保子（東豊井）
☆森野 幸雄（笠戸島）		

福祉員功労（個人5名）

☆田村美和子（下 谷）	☆吉村奈々子（東 和）	☆久野 裕子（切 山）
☆河村 孝子（切 山）	☆藤井比佐子（山 田）	

自治会長功労（個人2名）

☆大木 和正（切 山）	☆近藤 則昭（山 田）
-------------	-------------

ボランティア功労（個人13名）

☆加藤 澄子（東 陽）	☆兼政 幸子（瀬 戸）	☆松村眞砂江（末武上）
☆福富 郁代（旗 岡）	☆山本佳代子（生野屋南）	☆木村恵美子（切 山）
☆中原キミ子（生野屋西）	☆村上 芳子（生野屋西）	☆竹重 満子（瑞穂町）
☆岡田 初枝（西 市）	☆山本 幸江（末武中）	☆草野美枝子（末武中）
☆新田 八重（末武中）		



ふれあい・いきいきサロン功労（4団体）

☆若鷺会	☆いきいきサロン菅沢	☆柳ゆうゆうサロン
☆いきいきサロンひらた		

感謝状（個人3名）

☆古殿 雄二（周南市）	☆角井 武彦（生野屋）	☆田中佳代子（東 陽）
-------------	-------------	-------------

山口県選奨

社会福祉功労

藤江 旬仁

全国社会福祉協議会会長表彰

民生委員・児童委員功労

伊藤 信弘

全国民生委員児童委員連合会会長表彰 永年勤続民生委員・児童委員表彰

合田 重信	田中 和代	西村 敏彦	倉本 學	合田 衛司	小本 悦子	田村 英司
天谷 京子	江村 栄子	竹中喜久美	田村 範子	白井 康子	橋本ゆかり	岡崎みゆき

（敬称略）

第71回

山口県総合社会福祉大会

10月27日、山口市で開催予定だった「第71回 山口県総合社会福祉大会」は新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から中止となりました。

各団体による表彰や大会宣言、部会報告等は実施され、下松市から次の方々が受賞されました。おめでとうございます。

山口県社会福祉協議会会長表彰 社会福祉事業功労者

浅原 郁子

山口県老人クラブ連合会会長表彰 一般功労者

浜谷 和昌 藤尾婦美子 藤村八重子

山口県老人福祉施設協議会会長表彰 会長表彰

岡崎百合子 徳永 直美 （敬称略）

善意の花束

社会福祉事業のためにと、市民の皆様から、善意銀行に忌明けその他の厚志を含めてたくさんの善意が寄せられました。ここに厚くお礼申し上げます。なお、氏名・金額はご了承くださいました方のみ掲載しています。(順不同)

令和3年10月1日～令和3年12月15日 受付分

香典返し

<美里町>

西原 勝子 様 100,000 円
(御主人) 勝治 様

<西 市>

末富 美由紀 様 200,000 円
(御主人) 正則 様

<大手町>

廣石 純子 様 100,000 円
(御主人) 宏 様

<中島町>

綿貫 ひろみ 様 500,000 円
(御主人) 専二郎 様

一般寄付

山口県東部ヤクルト販売株式会社 様

41,500 円

累計 2,062,182 円

下松グラウンド・ゴルフ協会 様

8,000 円

下松商工会議所女性会 様

20,000 円

累計 660,000 円

<望 町>

匿名 様 7,750 円

<美里町>

匿名 様 30,000 円

物品寄付

<栄 町>

荻田 春峰 様 書 1枚

<周南市>

清水 良昭 様 お米 4俵

<河 内>

白井 春好 様 お米 1俵

もち米 1俵

匿名 様

お米 20kg

下松商工会議所女性会 様

卓上正月飾り(手作り)

マルハン下松店 様

お菓子

リングプル

22 件

使用済切手

15 件

～はたちの献血キャンペーン～

あなたの今日が、だれかの明日に。 ハタチの献血

1月1日から2月28日までの期間、献血の普及・啓発及び献血運動を全国で盛り上げることを目的に、新たに成人を迎える「はたち」の若者を中心としたイベントを実施します。

と き 令和4年2月13日(日) 10:00～12:00
13:15～16:00

ところ サンリブ下松

☆献血をされた方には粗品をプレゼント！

※新型コロナウイルス感染症の状況により、変更・中止する場合があります。



「小さな親切」

作文コンクール表彰

第46回「小さな親切」作文コンクールにおいて、応募総数 40,565 編の中から下松小学校 3 年生守政拓哉さんが小学生の部で入選されました。おめでとうございます！



なお、守政さんの作文は、社会福祉協議会のホームページに公開します。ぜひご覧ください。

サロン活動紹介コーナー

若 鷺 会

場 所	若宮集会所
開 催 日	毎月第 2、第 4 水曜日 13 時 30 分～15 時 00 分
内 容	サンサン体操、お茶会
参 加 費	無 料

メッセージ

平成 17 年に開設しました。体操をした後はみんなが楽しみにしているお茶会。地域の貴重な情報交換の場になっています。



いきいきサロン菅沢

場 所	米川老人集会所
開 催 日	毎月第 1 木曜日 10 時 00 分～11 時 45 分
内 容	毎月のテーマに沿って交流 (ゲーム・お菓子作り・物作り)
参 加 費	無 料

メッセージ

毎月 1 回、お互いに元気な姿を見ながら楽しく活動しています。豊富なメニューをそろえており、笑顔で過ごせる場になっています。



柳ゆうゆうサロン

場 所	下松中央公民館
開 催 日	毎月第 3 金曜日 13 時 30 分～15 時 30 分
内 容	各種講座、歌、俳句
参 加 費	2,000 円／年

メッセージ

参加者は俳句や言葉遊び、色々な講座を通して、楽しく認知症予防に取り組んでいます。また、社会見学として小学校や施設にも訪問しています。



いきいきサロンひらた

場 所	平田老人集会所
開 催 日	毎月第 4 月曜日 13 時 30 分～15 時 30 分
内 容	頭やからだを使ったゲーム
参 加 費	100 円／1 回

メッセージ

様々なゲームで頭も身体もリフレッシュ。しゃべって楽しく情報交換。家の外に出る機会を作るため工夫しながら運営しています。



ふくし担い手養成講座

～あなたのちからが地域のちからに～

日時 3月8日(火) 10時～12時

会場 下松福祉センター

講師 ・山口県立大学 社会福祉学部
准教授 角田 憲治さん
・ボランティア・福祉活動実践者

対象 興味のある方ならどなたでも

定員 30人(先着順)

参加費 無料

締切日 2月25日(金)

申込方法 電話・FAXでお申し込みください
①住所 ②氏名 ③年齢 ④電話番号

申し込み・問い合わせ先

〒744-0078 下松市西市二丁目10番16号
下松市社会福祉協議会
TEL 41-2242 FAX 41-2330

掲 示 板

11月13日、宇部市のときわ湖水ホールで「育児を楽しもう!～パパのアトリエ～ in 宇部」が開催され、その中で、やまぐちイクメン応援表彰と子育てサークル表彰式がありました。

その席上で育児中の母子支援として17年間活動している下松市更生保護女性会(会長 藤田萬喜子)の「のんびりサークル」が優良サークルとして山口県知事より表彰されました。



地域で見守り声掛け

12月4日、豊井公民館で豊井地区認知症見守り声かけ体験会を実施しました。

小学生を含む34名の参加者の皆さんは、認知症サポーター養成講座を受講し、認知症の方への基本姿勢や、具体的な対応など声掛けのポイントを学習しました。

その後、6グループに分かれ、認知症高齢者役の人が行方不明になったとの設定のもと、発見・保護した際の声掛けの実務訓練や情報の連絡・報告体制の確認を行いました。

参加者の皆さんは認知症への理解を深め、本人に配慮した声掛けや見守り方法を熱心に学ばれていました。



下松点訳・音訳友の会

下松点訳・音訳友の会では、目の不自由な方には、少しでも多くの情報を届けたいとの思いで活動をしています。

新会員募集

- 活動内容**
- ① **点訳の部** (隔週水曜日 10時～12時)
・点字図書の製作
 - ② **音訳の部** (毎週火曜日 9時～13時)
・市広報、社協だよりの録音など
 - ③ **拡大・マルチメディア部** (自宅で活動)
・テキストデータの製作など

「誰かのお役に立ちたい」 このような方には
「自分を高めたい」 お勧めです。
「新しいことを始めたい」 お気軽にご相談ください。



活動場所 下松市地域交流センター内 地域活動室
(下松市生野屋南 1-11-1)

連絡先 下松市社会福祉協議会 ☎ 41-2242



次回発行は6月号です

